



2,000 とも 3,000 ともいわれる龍の背びれのような奇岩や島々が林立するハロン湾を紹介します。トンキン湾の中でベトナム北部に当たり、石灰岩台地の沈降と侵食によってできたもので湾の面積は 1,550 km² 余り、1994 年に世界自然遺産に登録されています。中国がベトナムに侵攻してきた時、龍の親子が現れ敵を破り、口から吐き出した宝石が湾内の島々になったとの伝承もあるとのこと。近くの紅河デルタ地帯にあるハノイ（河内）の旧名がタンロン（昇龍）で、ここがハロン（降龍）、川の流れが龍に例えられることはよくあります。三角州の幾つもの川の流れやこの複雑な島々の地の利を活かして撃退できたということかと思いました。水墨画のような景観が中国のカルスト地形の観光地と似ていることから「海の桂林」と言われることもありますが、この伝承や、ベトナム戦争終結後の 1979 年の中越戦争に加え、最近も続いている西沙諸島・南沙諸島でのトラブル等から、現地の方々は「桂林」への例えを快くは思っていないのではと感じました。

海鮮料理の船上昼食と鍾乳洞の観光込みで、3 時間余りのクルーズでした。奇岩の小島には形から愛称が付いているものもあり、その幾つかも巡ってくれます。中には見る方向によって全く異なる形になるものもありました。





魚のような島が、少し回り込むと・・・



「チキン島」とのこと



見るからに「ゴリラ島」



水上生活者の集落

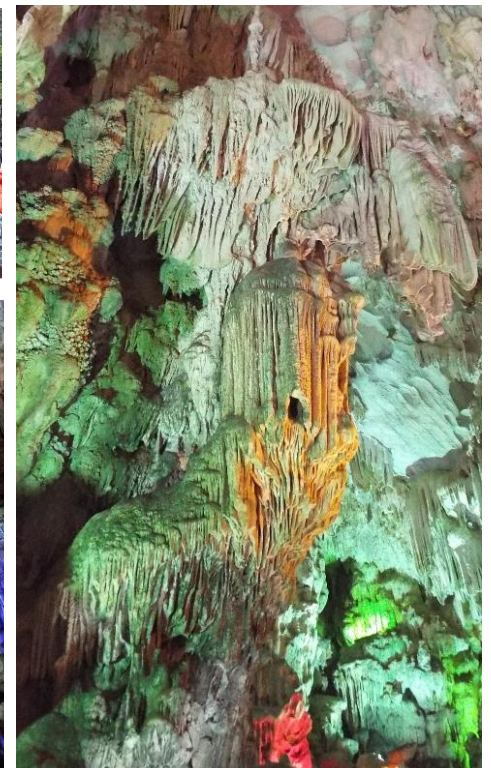


床下の魚の生簀

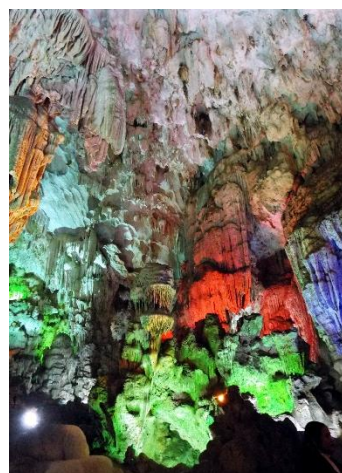


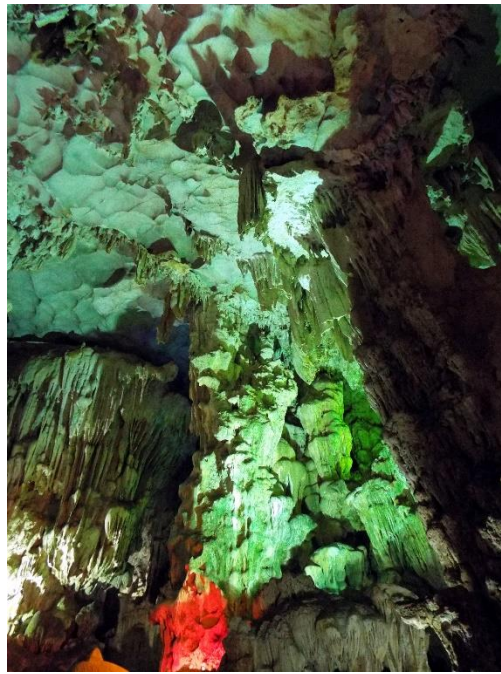
シャコの販売も

道草ギャラリーその45でトンレサップ湖、その46でチチカカ湖の水上生活者を紹介しましたが、このハロン湾にも水上生活者がいます。前2例は淡水湖でしたがここは海上ですので生活用水の確保が大変だろうと思いました。床下に魚の生簀を設けている家もありました。台風が近づくと船で曳いて入り江に避難することもあるようです。



カラフル？な 鍾乳洞！





湾内のダウゴ島に上陸し、ドン(洞)ティエンクンを観光。高さ 20 m程の大空間もあり、20 分程で一巡り。無数の鍾乳石や石筍がカラフルにライトアップされ、国内のものとは違った独特の雰囲気鍾乳洞でした。

ダウゴ島の入り江



ベトナム語はフランス統治時代にアルファベット表記に変更されていますが、元々は漢字文化圏です。島は日本語で「トウ」、中国語で「タオ」ですが、ベトナム語では「ダオ」と言うようです。明治時代にはベトナム人留学生と漢文筆記で意思疎通できたと聞いたことがあります。寺院等に漢字で書かれたものも残っていますが、読めるのはお坊さんくらいのことでした。もっと「漢字」が残っていれば、日本人旅行者にはさらに解りやすいこともあったのではと思いました。



幾重にも島々が重なっている



この時の旅行でホーチミンでの現地ガイドから「祖父がフランス軍、父がアメリカ軍の仕事をしていた。三代は公務員等の公職に就けない。私も子供もだめで孫からは可能」との話を聞きました。ベトナムの南北統一から間もなく 50 年経ちますが、まだこのような制約があるようです。ホーチミンは、まだサイゴンだった陥落直前の 1975 年 4 月中旬にパリからの帰路便が、砲弾の穴だらけのタンソンニャット空港に立寄って以来 39 年ぶりでした。同空港は 2007 年 7 月に日本の政府開発援助で新国際線ターミナルビルがオープンしています(ベトナム語、日本語、英語で記載した看板がありました)。

Google 地図参照 ストリートビューで、ゴリラ島やチキン島も見られます。(写真撮影 2014.03.08)

ハロン湾 <https://www.google.co.jp/maps/@20.8907405,107.1346135,28551m/data=!3m1!1e3>

ティエンクン洞 <https://www.google.co.jp/maps/@20.9129646,107.0173495,441m/data=!3m1!1e3>

タンソンニャット空港 <https://www.google.co.jp/maps/@10.8222166,106.6551007,13.86z>

上の URL は、下の「PDF はこちら」に入ればクリック可能です。

(2022.04.01)